



KOBE MUSLIM MOSQUE

神戸ムスリムモスク

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通 2-25-14

2-25-14 Nakayamate Dori, Chuo-ku, Kobe 650-0004, Hyogo, Japan

Tel: (078) 231 6060 Fax: (078) 231 6061

Email: info@kobemosque.com Website: www.kobemosque.com



神戸ムスリムモスク理事長による公式声明

私、モハメッド・アシフは、神戸ムスリムモスク理事長として、当モスク内で、2024年12月27日にイマームである藤谷勇介氏が行った説教について、ここに見解を表明いたします。この説教の動画が最近、一部を切り取られるなどして社会的な注目を集めていることを受け、その背景と発言の真意を明らかにするとともに、表現上の不適切さにより招いた誤解や不快感について心よりお詫び申し上げます。そして、日本社会との相互尊重と平和的共生に向けた私たちの決意を、改めて表明いたします。

背景と真意の説明

当該説教は、2024年12月、藤谷氏が当モスクでイマーム（礼拝の先導者）としての活動を始めた初期に行われたものです。藤谷氏の説教の真意は、日本文化そのものを嫌悪・攻撃したり、日本人の皆様を敵視したりする意図は一切なく、敬虔なムスリムとして、他宗教の宗教的行事に同調して自らの信仰（アッラーへの一神教的信仰）を失ったり、過って宗教上の禁忌（ハラーム）を犯したりすることがないように、信者に向けて注意を呼びかけたものでした。しかしながら、誤解を招きやすい過激・不適切な表現が含まれていたことは事実であり、一部の言葉遣いが日本の皆様には不快感や誤解を与えてしまいました。この点については弁解の余地がなく、当本人も深く反省しております。なお、同氏の発言は個人の指導・講話におけるものであり、神戸ムスリムモスクの公式見解を代表するものではありません。

モスクの立場と責任

私はここに明確に申し上げます。私たちは、日本の人々やその文化・伝統に対する敵意、軽蔑、無礼な態度を断じて容認いたしません。ムスリムは自らの宗教的境界線（信仰の純粋性やハラールの遵守）を守りつつも、同時に地域社会や他者の尊厳、文化、伝統を深く尊重し、友好的に共生することができます。私たちは、この度の騒動を知った後、藤谷氏に対し、表現や言葉の選び方に一層の注意を払い、社会との調和と平和的共生に向けて建設的に発信・貢献するよう厳重に指導・助言いたしました。同氏は自らの発信方法・表現方法を改めて見直し、学び続けるとともに、日本社会との信頼関係を深めるための取り組みに参加しています。私たちのモスクは、分断や敵意を生み出す場所ではなく、礼拝、思いやり、学び、そして地域との相互理解の場でなければなりません。

日本社会に対する私たちの決意

神戸ムスリムモスクは、昭和10年に建てられた日本最古のモスクとして、その当時より、イスラム教徒と日本の隣人の皆様との間に、信頼と相互理解を育むための取り組みを積極的に進めてまいりました。



KOBE MUSLIM MOSQUE

神戸ムスリムモスク

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通 2-25-14

2-25-14 Nakayamate Dori, Chuo-ku, Kobe 650-0004, Hyogo, Japan

Tel: (078) 231 6060 Fax: (078) 231 6061

Email: info@kobemosque.com Website: www.kobemosque.com



現在も、私たちは、当モスクのコミュニティのメンバーに日本のマナー、礼儀作法、慣習、社会的な規範について伝え、思いやりのある隣人であり、責任ある社会の一員となるよう促しています。こうした取り組みは、NHK のテレビ番組でも紹介されました。

それゆえに、この度の騒動によって日本の皆様に不安や不快な思いをさせてしまったことについては、私は非常に申し訳なく感じており、悲しい気持ちでいっぱいです。

平和で相互に信頼し合う社会は、単に隣り合って暮らすことだけでは実現しません。自らの信仰を大切にしながらも、地域文化を尊重し、互いに耳を傾け、学び合い、違いを尊重し合う姿勢が不可欠です。

日本の隣人の皆様、友人の皆様、そして同じ社会に生きるすべての皆様に、改めて、心よりお詫び申し上げます。私たちが目指しているのは、単に共存することではありません。地域に深く根ざし、日本の伝統や文化を尊重しながら、長く続く友情と相互信頼を深め、日本の未来に意義ある貢献を果たしていくことです。

5. 差別に対する断固たる姿勢とお願い

私は、日本国民の一人として、人種差別、イスラム教徒に対する偏見、そして外国籍・移民ルーツの人々に対する敵意についても、同じように深く憂慮しています。

いかなる信仰やコミュニティも、その実情や文脈を正確に理解することなく排斥されるべきではありません。また、個人の言葉足らずな表現や過失をもって集団全体への責任転嫁へと繋がり、憎悪や差別を正当化することがあってはなりません。

日本は、その国民性、伝統、そして美しい価値観を通じて、国際社会から高い尊敬を集めてきました。私は、日本の皆様に対し、一部の切り取りや誤解に基づく根拠のない憎悪を退け、相互理解の精神をもって接して下さるよう、心よりお願い申し上げます。相互尊重は双方向に求められるものであり、偏見や憎悪の上に平和的共生を築くことはできません。

私たちの決意

神戸ムスリムモスクおよび理事会を代表し、当該の説教における不適切な表現や誤解によって招いた不快感やご懸念について、改めて心よりお詫び申し上げます。私たちの決意は明確です。日本の文化や社会規範を心から尊重し、地域社会に責任ある形で貢献しながら、相互の尊厳と平和的共生を実現してまいります。

モハメッド・アシフ

神戸ムスリムモスク 理事長

[神戸ムスリムモスク及び理事会を代表して]

令和 8 年 10 月 27 日